JAだよりおおがた
Ogata
1
JANUARY
2021 No.570

JA大潟村は今年で50周年

JA OGATAMURA 50th ANNIVERSARY ～写真で50年を振り返ります～

新春囲碁大会 小学生囲碁・将棋体験教室
平成21年（2009年）1月9日　写真／ＪＡ所蔵

50周年記念講演・式典・祝賀会は2021年11月に延期いたしました

今月号の主な内容

02　年頭にあたって（組合長あいさつ）
04　新春特集　女性部・青年部・フレッシュミズ「新年に思うこと」
06　コメ記者熊野のコラム
07　営農だより（水稲の生育状況と作柄を振り返る）
10　あぐりプラザ情報
11　女性部活動だより
12　身近なリスクにそなエール　特定重度疾病共済
13　フォトニュース
14　50周年インフォメーション
15　フレミズだより・青年部活動報告と予定
16　初めてのお誕生日・「豚まんの福楼」に行ってみよう

JAグループ秋田キャッチフレーズ
いいねをいっぱい届けたい
JA大潟村

年頭にあたって 2021

代表理事組合長　小　林　　肇

組合員の皆様とご家族、地域の皆様に、謹んで新年のおよろこびを申し上げます。また、日頃よりＪＡ事業につきましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

一年を振り返る

昨年は、雪解けも早く3月には田起しができそうな気配でしたが、4月に入りぐずついた天候が続きました。田植え後の天候は良く生育も順調でしたが、6月下旬から7月上旬にかけて長雨となり、稲の生育も停滞しました。しかし、葉色が濃く、追肥したいときにできない状況が続きました。8月中旬から30度を超えるような猛暑が続き、高温障害が心配されましたが、9月に入り夜温が下がりコメの充実度が増しました。

中国武漢から発生した新型コロナウイルスが日本でも猛威を振るい、いまだ世界中でウイルスの脅威を抑えることができていません。その影響で自粛要請が出るなど、外食産業に大きな打撃となり業務用米消費が大幅に落ち込みました。その結果、6月末のコメ在庫は大幅に増えました。全国的に自然災害は少ない年となりましたが、コメ主要産地の豊作により米価は下落傾向となりました。

全国的には「99」の平年並みとなりましたが、コメ主要産地は軒並み「１００」を大幅に超える豊作となりました。西日本を中心に大陸からの偏西風によって飛来したウンカによる被害が甚大となり、中国四国地方などでは「90」を割り込む数字となりましたが、新型コロナウイルスの影響で在庫が積み上がり、倉庫事情もひっ迫し新米を含めたコメが動かない状況となっています。

秋田県では作況指数が「１０５」となり、大潟村も「１０４」で平均収量が６６２kgという数字となりました。県南では、いもち病の発生により収量が低下する結果となりました。近年の業務用需要による多収品種への切り替えが進み、大潟村全体の多収技術がアップしたこともあり、平均で６６２kgという結果は大潟村稲作のポテンシャルが大きいという結果を表すものとなりました。

米以外の状況

大豆については、本作では好天に恵まれ、初期生育は順調に進みましたが、小麦後作では播種期に降雨が続いたことから、適期に播種できない圃場が散見されました。その後は生育も回復したことから、本作では平年を上回る収量となりましたが、後作では平年をやや下回る収量となりました。

小麦については、生育期間を通して順調に推移しましたが収穫直前の降雨により倒伏した圃場が多く見受けられました。そのため、収量は平年を上回りましたが、品質は低いものとなりました。

南瓜については、播種時期の低温により育苗が難しい年となりました。しかし、5月下旬以降天候が回復し、順調に生育しました。春先低温の影響で雌花が多くついたことが影響して、盆前の南瓜は小玉傾向となりました。販売については、関東の天候不良が影響したため、市場では品薄状態が続き高単価での取引となり、平均ケース単価は過去最高の３，０２８円となりました。

全県１ＪＡ構想について

２０１８年11月に行われた第30回秋田県ＪＡ大会において、秋田県１ＪＡ構想が提示され、再編に関わる協議を続けています。この協議が始まった背景として、県内の人口減少や高齢化等により組合員数が減少していることをはじめ、政府による農協改革の推進や日銀のマイナス金利政策による信用事業収益の落ち込み等、経営環境の悪化が想定されたため、これまで以上に経営基盤の強化が必要な状況下で県１ＪＡ案が浮上しました。これが実現すればコメの取扱高が日本一となるなど、全国

トップクラスの規模となりスケールメリットを発揮し経営基盤をより強固にすることを目指しています。

ＪＡ大潟村としては、システムの更新を控えており、少ない情報の中で２０２０年度末までに合併への参加・不参加を決めることにしています。先月18日には座談会を開催し、今後10ヵ年の事業計画案を作成しました。合併を一度も経験していないＪＡとして、合併後のメリット、デメリットを出しながら、県１ＪＡ構想と比較して検討を進めています。また、２月には合併への参加・不参加に関わるアンケート調査を行うことにしているため、１月末にも再度説明会を行い、組合員への情報提供を行いますので、多くの組合員の参加をお願いいたします。

県内の他ＪＡが抱える課題とは違い、ＪＡ大潟村では組合員数の変動も少なく個々の農家の経営基盤がしっかりとしています。基盤整備の整った農地で効率的な農業を営み、組合員と職員の信頼関係も強いＪＡだと感じています。マイナス金利による影響は受けていますが、10ヵ年事業計画案においても、採算がとれる試算となっています。

県１ＪＡ構想では、整備課自動車、給油所、生活店舗などは子会社化され、採算が取れないと廃止されます。また、営農指導賦課金の徴収など今までより負担が増え、総合口座も廃止される可能性があります。ＪＡ大潟村として大きな判断を迫られていますので、多くの組合員と一緒に考えていきたいと思っております。

タマネギ事業

２０１９年２月に産地パワーアップ事業を活用し、タマネギの乾燥調製貯蔵施設が完成しました。村地域再生協議会とともに１００haの産地化を目指しています。施設稼働の初年目は、ＪＡの受け入れ体制の不備等で、大量のタマネギ廃棄となってしまいました。第三者機関からもＪＡの体制不備が指摘され、運用マニュアル整備や職員の増員、乾燥施設の運用知識取得向上により、２年目の稼働においてはスムーズな乾燥調製出荷作業ができるようになりました。また、目標であった４トン／反を大幅に超え６トンに迫る農家も出てきました。コロナ禍において市場の低迷もありましたが、収穫時期に価格が復活し平均単価90円を確保することができ、タマネギの高収益化実現可能性が見えてきました。大潟村のヘドロ土壌を克服するには、大量の土壌改良剤の投入や有機質肥料が重要だということがわかってきました。米価が低迷する中、今後とも高収益作物タマネギの産地化に向けて努力してまいります。

ＪＡ大潟村創立50周年

２０２０年にはＪＡ大潟村創立50周年を迎えていましたが、新型コロナウイルスの影響で記念行事を１年延期させていただきました。50周年という大きな節目は、多くの組合員に参加してもらい祝ってもらうことが良いと考えています。早く新型コロナウイルスが収束し、今年盛大にお祝いできることを願っています。

50年も経つと組合員の「自分たちの農業協同組合」という意識が、若い人ほど希薄になってきているように感じます。自分たちが出資し作り上げた農協という意識がなく、ほかの株式会社と同じように感じているのかもしれません。ＪＡは、組合員のできないことを職員が請け負い、利用してもらった利益から職員給与や組合員への還元を行う組織です。各種団体組織への補助や地域への寄付は、組合員の利用した中の利益から配布しています。株式会社はそういった行為は行わず、株主のために還元しています。情報化社会の中、ネットで何でも調達できてしまう時代ですが、地元のＪＡを利用していただき地域や組合員、職員へ利益還元を行う組織として、これからも組合員と信頼関係を築いていきたいと思っております。

謹んで
新年のお慶びを
申し上げます

代表理事組合長　小林　肇
専務理事　桑原秀夫
常務理事（学識経験役員）　高橋勇輝
理事　深井源八郎
理事　谷口良一
理事　中島達也
理事　橋本考由
理事　佐野　潤
代表監事　松井　仁
監事　吉原　忍
常勤監事（員外監事）　渡部　誠

外職員一同

新春特集

「新年に思うこと」

ＪＡと深いつながりを持つ女性部長・青年部長・フレッシュミズ執行部代表より、昨年の反省や今年の展望など「新年に思うこと」を、それぞれ語っていただきました。

女性部

地域貢献

部長　栢森　慶子さん

新年あけましておめでとうございます。日頃より女性部の活動にご理解、ご協力、ご支援いただきまして心より感謝申し上げます。

令和２年は新型コロナウイルスが世界中を震え上がらせました。今なおその勢いは衰えておりません。世界中がその影響を受けており、誰もが楽しみにしていたオリンピックが延期されました。我が大潟村でも、各種会議やイベントが取りやめや縮小を余儀なくされました。

そんな閉塞感の中、女性部は活動を止めることなく続けてきました。フレミズとの交流、「軽スポーツ大会」の種目『ボッチャ』では初めて

青年部

コロナ禍で見えたこと

部長　今野　芳昭さん

新年あけましておめでとうございます。日頃より青年部の活動にご理解、ご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

今年度の青年部活動は新型コロナの影響を大きく受け、様々なイベントが中止、縮小となりました。

その様な中でも、やれることはやりたいという思いから、村民野球選手権大会に青年部として初出場。５年目を迎える青年部圃場ではカボチャは例年に比べ少し収量は落ちたものの、玉葱は目標３ｔ／10ａを大きく上回り、５・３ｔ／10ａと村内トップクラスの収量となりました。

フレッシュミズ

出会いに感謝して

執行部　田村　恵さん

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃よりフレッシュミズの活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度は新型コロナウィルスの影響でフレミズの活動も自粛せざるを得ない状態でしたが、役員会議は極力会うのを避けてＬＩＮＥで話し合うようになり、感染対策をしながら活動をしました。

６月は役員でサルビア植え、７月の交流会ではサンルーラルの美味しいランチを頂きました。例年であれば８月に移動研修でしたが12月に見送る事にして、移動しない村内研修となり

「新年に思うこと」

参加した方が「面白かった」と言ってくださり、エコレク部にはご難儀をおかけいたしましたが大会を開催した甲斐がありました。また、エコレク部のもう一つの事業、不用衣類の回収は年1回から2回に増やしてごみの減量に努めております。

複数ある活動グループの中で、定着している野菜栽培活動グループでは生ごみを堆肥にし、ごみの減量と無農薬野菜作りに取り組んでいます。豆腐作りサポートグループは小学校に出向き3年生に手作り豆腐の作り方を教え、子供たちから好評を得ています。

ゆずり葉は、健康寿命100歳を目指しいつまでも元気にいられるよう、体操や楽しい講座を年数回開催しています。長い間継続され、参加者に喜ばれております。

加工部では、施設の老朽化が危惧されている中、豆腐作りの指導、味噌委託加工をしており、昨年から材料持ち込みのこだわり味噌の委託加工も始めました。

このように女性部は地域に根差した活動や、現代社会に取り残されないようにパソコン教室も続けております。

今年も活動を止めることなく学習、仲間づくり、地域貢献など楽しく活動して参りたいと思います。

今年も多くの方の参加、入部をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

しかし、農繁期の春先には実感が湧きませんでしたが、イベントが減ったことにより、モチベーションは低下し、情報共有する機会さえも失っていました。直接会い、情報を共有し共に考えること。明日への活力となる飲み会。これらが奪われた中での活動は減退して行くように感じました。これまで当たり前だったことが当たり前ではなく、実はとても大切なものだったことに改めて気づかされました。

ですがマイナス面だけではありません。コロナ危機による米価の下落を受け、これまで以上に、農政と営農に向き合う若者は増えました。

また、コロナ禍だからこそ大切なことが明確化しました。制限された中でも工夫しやり続けること、感染リスクを考えたうえでのチャレンジ。そして必要性の低いものは中止または縮小等です。これらを考え見極めるためにも、直接会える機会が減っている今、これまでより更に、人と人とのつながりを大事にしなければなりません。皆で情報共有し課題を見つけ、コロナ禍で見えたこと、気づいたことを今後いかに活かしていくか、考え行動することが大切だと思います。

コロナ収束のめどは立っていませんし、今後もどんな災厄があるかわかりません。しかし今回のコロナ危機で学んだ事を活かせば、必ず乗り越えられると思います。

これからもＪＡ青年部は、ＪＡ事業に貢献するだけでなく、地域社会への貢献や活性化の助力ができるように邁進してまいりますので、今後とも皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ました。

11月はＪＡ座談会と、医療法人正和会より佐々木久美子さんをお招きしてコロナ対策を含めた感染症対策のお話をたっぷりお聞きする事ができました。子供が嘔吐した時の対策等とても勉強になるお話ばかりでした。その後は楽しいお茶会で、美味しいものを食べて久々に仲間達とおしゃべりし、ストレス発散できました。

11月末には女性部さんとのスポーツ交流会があり、昨年に引き続きボッチャを楽しみました。私は今回初めての体験でしたが、ボッチャはカーリングに似ていて手のひらサイズのボールをポンッと投げます。うまく投げる事が出来ると嬉しくて、つい夢中になってしまう様な楽しいスポーツでした。

フレミズに入り、自分一人では経験できないようなイベントに参加し、座談会を通して村のことも考えるようになりました。県外から嫁いできた私には秋田県に友人が居なかったので、村に住み始めて同世代の女性と出会うことも、仲良くなる事もなかなか難しいものでした。私は近所の方と義母の勧めで「美味しいものが食べられる」という事に心惹かれてフレミズに入りました。今ではフレミズで出会えた仲間がいるという事をとても心強く感じています。

フレミズは未婚・既婚問わず入会できます。まずはお試し会員として気軽に遊びに来て欲しいです。本年も地域に貢献できるよう一層努力して参ります。皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

コメ記者 熊野のコラム

※このコーナーは隔月で掲載致します。

第13回　「いまどうなっているの？お米の状況⑬」

熊野（くまの）　孝文（たかふみ）　1954年鹿児島県生まれ。米穀新聞社記者、30年以上にわたりコメの流通現場を中心に取材。

昨年令和２年はコロナで始まってコロナで終わったような年でした。もちろんコロナ禍はまだ終わっていませんが、社会そのものが大きく変わるような変革が起きてしまいました。

コメ業界でも外食業界等業務用米の大幅な需要減、さらには訪日外国人の激減でその分の落ち込みでコメ余り現象が一気に表面化してしまいました。その反面、コメの需要が伸びたという分野もあったのです。その筆頭はパックご飯でしょう。

昨年12月10日の日経新聞朝刊に「サトウ食品純利益最高」という記事が出ていました。見落とした方のために概要を紹介しますと、同社の2020年５～10月の連結決算は最終損益が５億8800万円の黒字（前年同期は２億3300万円の赤字）で過去最高を更新し、その要因はパックご飯の売上が前年同期より８％増え過去最高になったことをあげています。パックご飯の売れ行きが好調だったのは同社だけではありません。農水省が毎月公表しているマンスリーリポートにコメ加工食品の生産実績が出ています。2020年12月号に2020年１月から９月までのパックご飯の累計生産量が出ていますが、それによると前年同期比112％の14万7,763㌧になっています。また、生産量だけでなく輸出も伸びています。2020年１月～10月までの累計輸出量は1,010㌧で前年同期比では24％も増えています。金額ベースでは５億4,800万円で34％の伸びです。輸出に力を入れているパックご飯メーカーの中にはラインを増設したのですが、国内需要の拡大もあってフル稼働状態でも輸出に回す余力がないというところさえあります。最大手のテーブルマークは年間製造量が３億食を突破したというのですから凄いものです。同社によると国内で販売されている食品でずーっと右肩上がりで増えているというのはパックご飯だけだそうです。市場が拡大している商品には新規に参入する企業も多く、競争が激化しています。価格競争は激しくスーパー店頭で１パック180㌘70円を切る価格で販売しているところもあるぐらいです。米穀業者の中にも今年新しくパックご飯の分野に参入する計画を立てているところもあるほか、新しい製造ラインを作り、一般の白飯とは違った商品を作ろうとしているところがあります。この会社が有望だと見ているパックご飯は“玄米ごはん”でそれを有機米で作ろうと計画しています。玄米はコロナ禍の中にあって免疫力を高めるという事で、ニューヨークでは玄米おにぎりが人気になっているそうです。おそらく日本でもメディアが玄米の効能について大きく取り上げるのではないかと予想しています。

パックご飯で玄米を簡便に美味しく食べられるようになれば相乗効果でコメの消費が上向くかもしれません。また、パックご飯だけでなく、普通の玄米も少しずつですが人気が上がっています。デパ地下ばかりにテナント出店している米穀小売店の５つ星マイスターの女性社長は、玄米や３分、７分搗きといった商品が売れるようになっていると言っていました。この方に玄米の美味しい食べ方を聞いたところ「一晩水に浸してから翌朝計量して水加減をして、それに氷を入れる」と美味しく炊けるそうです。

もう一つ楽しみな話があります。まだいつ放映されるか決まっていませんが、スポーツ庁長官がコメ消費拡大にひと肌脱いでくれるそうです。なんと60㌔の俵を担いでいろんなスポーツ選手と対談してくれるとのことです。スポーツ選手は浅田真央さんだけでなくごはん好きの人が多く、食べる量も多いのでコメ消費拡大には大いに貢献してくれそうです。東大野球部は一人一食450㌘以上のご飯を食べないと練習に参加できないと言いますから頼もしいです。これもまだ発表されていませんが、東大野球部ではご飯を多く食べることと打撃力がアップすることのエビデンスを調査中で、これが本当に証明されれば話題になるでしょう。この他、すでに話題になっているのでご存知かもしれませんが１㌔弁当を販売しているところが亀戸にあり、そのご飯の量は475㌘もあります。

令和３年はもっともっとご飯を食べてもらってコロナ禍に負けない体を作ってもらうというのが一番だと思います。今年のキャッチフレーズは「ごはんをいっぱい食べて日本を元気にしよう！」ですね。食べる方、お米を作る方双方が元気になることできっと良い年になると思います。

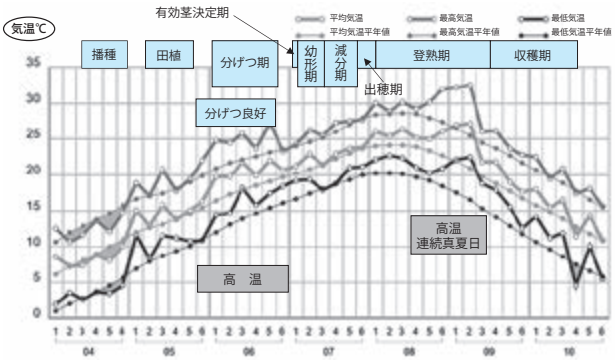
〈つづく〉

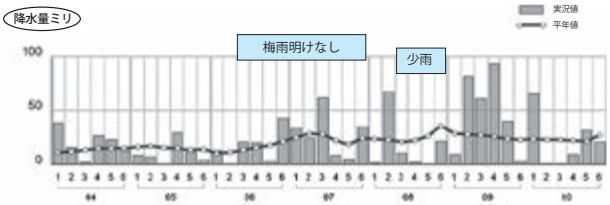
営農だより

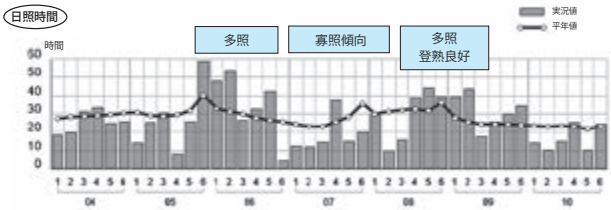
～令和２年度　水稲の生育状況と作柄を振り返る～

令和２年大潟村産米は、全体の平均単収662kg、作況指数は104の「やや良」となりました。
生育状況と作柄について、気象経過や坪刈などのデータをもとにまとめましたので、来年度の参考にしてください。

1　気象経過【秋田県農業気象システムデータ】







2　生育概況（あきたこまち）

（1）育苗期

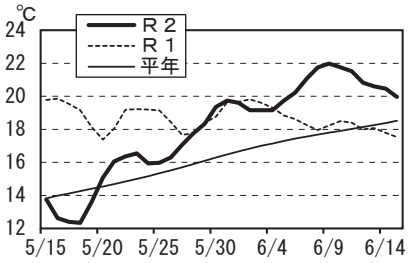
本年は４月15日頃より播種作業が始まったが、播種時から低温日が続いたため、出芽の不揃いや側根の伸長が遅れたことでマット形成もやや弱い傾向が見られた。低温の影響で側根の伸長が遅れた場合、マット中間層の根量が少なく根が絡まないため、育苗中盤（2.5葉期以降）で苗を持ち上げた時にマットが崩れやすいが、本年はやや多い傾向にあった。その後、５月の上旬に気温が上昇し、遅れていた生育やマット形成もほぼ回復した。

（2）田植え～生育初期

５月15日前後から田植えが始まったが、５月19日～21日に強風と低温日があり、一部の圃場で代枯れが見られた。５月下旬以降の高温により活着は概ね順調であったが、降雨日が少なく、圃場の風下に表層剥離が集積し、苗立ちの遅れや補植を必要とした圃場も目立った。

その後５月下旬以降の気温の上昇（図-１）で、土壌窒素の溶出もあり、初期生育は良好で１回目（６月８日）の生育調査では、「あきたこまち」の草丈が平年比102％、㎡当り茎数は同比99％であった。また、５月15日頃に移植した圃場では株当り茎数が７本～10本に増加している圃場が多く、３号分げつの発生が顕著に確認され、他品種も同様の傾向であった。

図-1　田植えから５日間の移動平均気温



（3）分げつ期

本年は６月の気温が高く、最高気温が25℃を上回った日が15日あり、これにより土壌窒素の溶出がかなり早まったと予想される。２回目の調査（６月17日）では草丈が31.4㎝（平年比101％）、茎数229本/㎡（同98％）、葉数7.2葉（同-0.4葉）、葉色値43.0（同105％）と全体の生育は「ほぼ平年並み」であっ

たが、有効茎決定期に当たる３回目の調査（６月29日）では草丈が42.4㎝（平年比103％）、茎数425本/㎡（同比110％）と生育が急速に活発化し、目標茎数（約400本/㎡）を上回った。また、すでに茎数が500本/㎡を超える圃場も見受けられ生育過剰気味の圃場も目立った他、葉齢から見た「幼穂形成は５日程度早まる予想」となり早急の中干しが求められた。

ただ、急激な土壌窒素の溶出により生育量が旺盛となったが、６月下旬頃には土壌残存窒素が急速に低下したと思われる。このため、本来最高分げつ期に当たる４回目の調査（７月８日）では、㎡当り茎数が前回調査から14本/㎡の微増に留まり（平年では100本/㎡程度増える）、439本/㎡で平年比で94％となった。また、この期間は曇天が多く日照不足となったため、草丈57.4㎝（平年比105％）と「草丈長め」の傾向で、葉数は10.3葉（同比-0.1葉）「平年より２～３日早い」と生育速度はやや緩慢となった。

（４）幼穂形成期～出穂期

幼穂長から推測した本年の「あきたこまち」の幼穂形成期は平年より３日程度早い７月12日頃であった。幼穂形成期に当たる５回目の調査（７月17日）では草丈66.4㎝（平年比99％）、茎数433本/㎡（同95％）、葉数11.4葉（同-0.1葉）、葉色値42.9（同103％）と「茎数少なめ、葉色濃いめ」の状態であった。本年は７月の降雨日が多く、中干し後も圃場乾燥が進まなかったため、窒素吸収が持続し葉色の低下も進まなかったと思われる。幼穂形成期の栄養診断では、草丈×㎡当り茎数の指数は概ね理想値の範囲に入っているものの、葉色値が高いことで「生育過剰傾向」に当たる圃場が多く見受けられた。このため、倒伏が懸念される品種では追肥の判断を慎重に行う必要があった。

減数分裂期に当たる６回目の調査（７月28日）では草丈78.4㎝（平年比100％）、茎数420本/㎡（同100％）、葉数12.5葉（同-0.2葉）、葉色値38.1（同99％）とほぼ平年並みの生育であったが、圃場乾燥が進まず葉色値が高い状態であったため、前回調査からの茎数減少幅が小さく推移したが、６月下旬の有効茎決定期の茎数と同様の本数であることから、強勢茎割合は高くなるものと予想された。出穂期は７月が低温・寡照で経過したものの、幼穂形成が早まったことで全体的に３～４日程度早まった。

（５）登熟期

昨年は出穂期から高温日が連続したことで白未熟粒の発生が目立ったが、本年は８/１～８/20間に平均気温が27℃を上回った日が３日程度であったため、白未熟粒の割合はそれほど高くないと予想されたが、８月下旬から９月中旬の期間では前例が無い高温日が続き、登熟後半の高温により胴割れ粒の増加が懸念された。

９月上旬から倒伏が散見され、９日～10日の大雨以降多くの圃場で倒伏が見られたが、「ほとんどの品種で上位節間長が平年を上回っていたこと」と「８月下旬からの高温で下層の土壌が急激に乾燥状態となり、下層の根域退化も急速に進んだこと」が要因だと考えられる。

また、本年は倒伏した圃場が多かったが、晩生品種では一部で白未熟粒、茶米、発芽粒等が目立ったものの、早生や中生品種においては屑米割合が非常に低かった。これについては「登熟後半まで気温と日照が確保されたこと」や「降雨による土壌の高水分保持により、上位根の活性が保たれたこと」で登熟歩合が高まったことが要因と思われる。また、分解調査結果から２次枝梗籾の着粒数が平年より多かったが、本来屑米割合が高いこれら２次枝梗籾も肥大し整粒になったと考えられる。

図-2　草丈・稈長（あきたこまち）

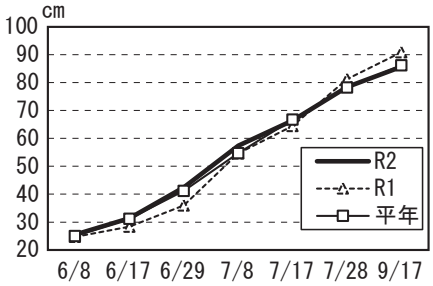


図-3　茎数・穂数（あきたこまち）

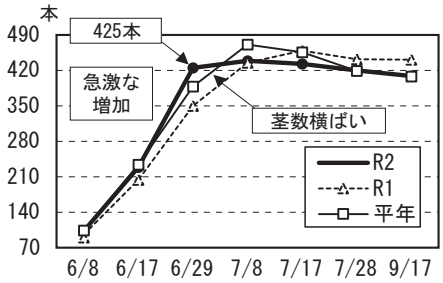


図-4　葉数（あきたこまち）

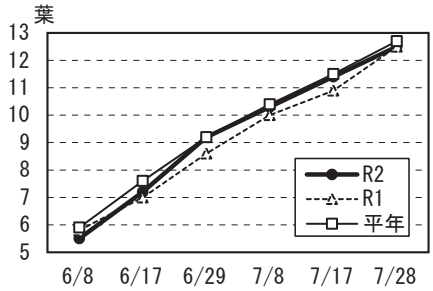
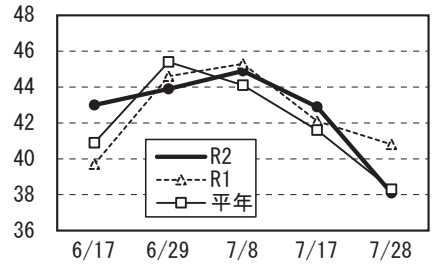


図-5　ＳＰＡＤ値（あきたこまち）



営農だより

令和２年度 水稲の生育状況と作柄を振り返る

3　病害虫発生状況

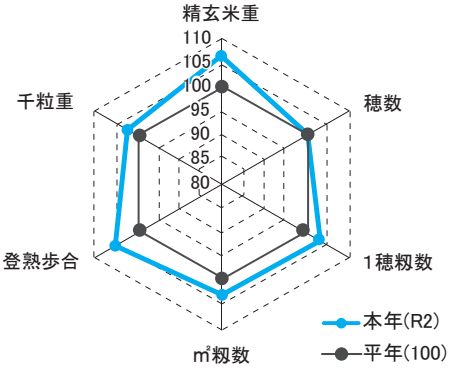
(1) い も ち 病	７～８月に降雨日が多く、出穂後の穂いもち病が一部見られた。
(2) 稲こうじ病	雨が多かったものの早生品種や晩生品種ともに発生は少なかった。
(3) 紋　枯　病	８月下旬より一部のもち品種圃場に発生が見られた。
(4) 斑点米カメムシ類	本年は「アカヒゲホソミドリカスミカメ」「アカスジカスミカメ」ともに発生量が多く、未防除圃場や防除の遅れた圃場では一部で発生が目立った。

4　作柄状況（収量・品質）

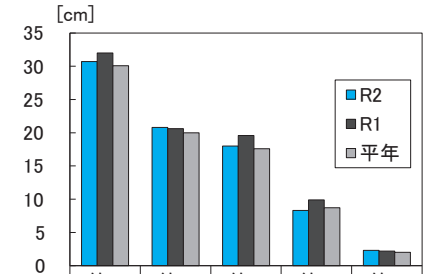
表－１　定点調査区13地点の収量調査結果

あきたこまち（生育調査13地点平均）	精玄米重(kg/10a)	穂数(本/㎡)	１穂籾数(粒/穂)	㎡籾数(千粒/㎡)	登熟歩合(%)	千粒重(g)
	616	409	85.9	35.1	93.2	21.7
平年比%(S58～R1)	106	100	103	103	106	102
前年比%	104	93	103	96	107	101

R２年 収量構成要素（あきたこまち平均）



R２年　節間長（あきたこまち）



	第1	第2	第3	第4	第5
R2	30.7	20.8	18.0	8.3	2.3
R1	32.0	20.6	19.6	9.9	2.2
平年	30.1	20.0	17.6	8.7	2.0

「あきたこまち」収量構成要素では穂数が409本/㎡（平年比100％）で平年並み、１穂籾数は平年比103％とやや多めであったため、㎡当籾数が約35.1千粒と平年（同比103％）をやや上回った。千粒重（篩い目：1.85㎜）も21.7ｇ（同比102％）とやや上回ったが、登熟歩合が93.2％と平年（88.2％）を大きく上回ったことが収量増の要因と考えられる。

5　大潟村予想収穫量（主要品種の作柄調査結果）

＜作況については、農林水産統計とは別に営農支援課で地区別・品種別に約60点を調査した結果＞

全体の平均単収は662kg、作況指数は104の「やや良」となった。
［昨年は大潟村：625kg、作況指数100］

品種別では、あきたこまち：623kg
たつこもち　：694kg
きぬのはだ　：732kg

品質については、晩生品種で白未熟粒、被害粒、着色粒等が一部にあったものの、整粒割合は平年を大きく上回った。

当ＪＡ検査実績での「あきたこまち」の等級比率は11月現在で、１等米比率が約98％となっている。

※平年単収は過去５年間の最高と最低を除く平均値　６３７kg

平成２７年	６３８ kg
平成２８年	６５９ kg
平成２９年	６４７ kg
平成３０年	５６１ kg
令 和 元 年	６２５ kg

あぐりプラザ トクトク情報

★金曜市開催予定日

1月8日㈮・1月15日㈮
1月29日㈮・2月5日㈮
2月12日㈮

営業時間 午前9時～午後7時
お問い合わせは生活課（45－2214）まで。

★ポイント3倍day開催予定日

1月18日㈪・1月26日㈫
2月3日㈬・2月16日㈫

★月間特売開催予定日

1月21日㈭～22日㈮ の2日間

JA住まいの応援団

屋根塗装　外壁塗装　クロス張替　床板張替　カーポート　ドア交換　など

屋根・外壁塗装

お家をいつまでも美しく

- 屋根塗装　1㎡ 2,500円～
- 外壁塗装（足場代込み）1㎡ 5,500円～

同時施工で大変お得に!!

クロス張替

お部屋のイメージチェンジしませんか

壁・天井クロス同時施工プラン
もちろん壁のみ、天井のみも可能です

8畳間　95,000円～
10畳間 115,000円～
12畳間 135,000円～
（概算金額）

床板張替

床からインテリアを一新!!

1㎡ 6,300円～
（施工費込）

カーポート

大切なお車 雨ざらしにしていませんか

◀LIXIL テリオスポート
【2台用積雪100cmまで対応】
【折板屋根】
400,000円（施工費込）

LIXIL ソルディーポート▶
【2台用積雪100cmまで対応】
【ポリカーボネート屋根】
730,000円（施工費込）

玄関ドア交換

住まいの顔が素敵に変身

鍵を携帯しているだけで、施錠も開錠もワンアクション

LIXIL リシェント 玄関ドア　280,000円～（施工費込）

エコカラット

住まいの快適をサポートする壁

LIXIL 室内用タイル建材 エコカラットプラス　1㎡ 12,000円～（施工費込）

聞くだけOK！　相談無料！
見積無料！　現地調査無料！

そのほか、水回りの困りごと、テレビの映りに関して、ストーブの故障等、どんなことでもご相談ください。

お問い合わせ先 生活課（担当：堀、佐々木まで）☎45－2214

女性部「活動だより」

☆これからの行事予定

◎１月12日　役員会
◎１月19日　リフレッシュ講座２回目
　　スローエアロビックス
　　ＪＡ会館　午前10時
◎１月21日　ＪＡ役職員との懇談会　午前９時
　　女性部座談会　午後
◎１月26日　フレミズ女性部合同役員研修
◎２月26日　総会
事業への参加・お問い合わせは生活課 木村、または執行部まで

★令和３年度 個人会員の役員募集並びに執行部募集

執行部役員は任期満了に伴い新執行部役員を募集します。

任　　期　２年間
募集人数
大潟村婦人会会長　１名　　ＪＡ女性部部長　１名
副会長部長　１名　　会計　１名　　監事　２名

令和３年度　個人会員の役員募集
任　　期　１年間
主な内容　役員会議　年４回くらい

立候補、推薦、どちらでも構いません。よろしくお願いいたします。受付は事務局（生活課 木村）または執行部まで　（執行部記）

★活動報告と各種会議報告

◎軽スポーツ大会（11月25日）

ＪＡ女性部・フレッシュミズ共催で行いました。昨年に引き続いての「ボッチャ」は、パラリンピックで広く知られるようになった競技です。基準となる白い球にどれだけ自分の球を近づけられるかでチームの得点を競います。負傷者が出ることも考えにくく、中高年にやさしいスポーツではないでしょうか。

しかしながら、今年はエコレク部にコロナの壁が立ちはだかり、このご時世なので大会を中止すべきではないか。そこからのスタートでした。また審判も、昨年ご協力いただいた秋田市スポーツ推進員の方々には今回お願いできなくなり、検討を重ねた末、感染防止対策をしっかりとる。審判はエコレク部が頑張る。ということでＧＯサインを出したのです。何人集まるか不安でしたが、昨年より７チーム減の、18チーム66名の申し込みがありました。

快晴の当日、受付では①検温②マスク着用③手指消毒④手袋着用を徹底させて開会式へ。参加チームはそれぞれ２試合だけ戦い、得点数で順位を決めることにしたのも、感染予防対策です。会場には終始笑い声や歓声が響き、春からの抑圧気分はどこへやら、楽しい真剣勝負が繰り広げられました。決勝戦は、２チームから送り出された精鋭一人ずつが、たった一投での一騎打ち。そのシビアな戦いを制したのは昨年の覇者フレミズさんです。敗れた熟女チームは惜しみなく勝利をたたえました。

この大会のあとには、役員Ｋ田さん秘蔵のお宝ぬいぐるみ10数体を賞品とし、フリー参加でこれまた一投限りの壮絶バトル！会場はおおいに盛り上がり、皆さん笑顔のうちに閉会となりました。

さて、今年の大会、「楽しかったね」「やっぱりやってよかったね」と簡単に口にするのも慎重にしなければなりません。令和３年には少しでもコロナの猛威が収束に向かってくれるよう願うばかりです。

本大会の開催に向けて全面的にご協力いただいたスポーレおおがた、スポーツ推進員の大沢さん・鎌田さん、ＪＡ木村さん、ご参加の皆様、本当にありがとうございました（感涙）。（エコレク部・Ｔ村記）

結果　１位：フレミズＢ　２位：ミックス　３位：フレミズＡ

軽スポーツ大会の様子

◎第２回不用衣類回収（12月３日）

小雨降る中、村民センター東２丁目分館に、各家々で長い間眠っていたであろう衣類やお子さんの成長で着られなくなった衣服が次々と持ち込まれました。タンスの中、押し入れの中、そして気持ちまでさぞかしスッキリしたのではないでしょうか？

43名、424kg回収できました。お礼としてゴミ袋（大）１枚差し上げました。

ゴミとして捨てないで再利用できます。年末にかけて整理される方、また来年まで保管しておいてください。　（エコレク部・齊藤直子記）

◎豆腐づくり講座（12月７日）

加工部の方から豆腐と油揚げ用豆腐の作り方を教えていただきました。

また、使用後の電源、水の氷止め、ガス栓の締め方も確認しました。

特にガス栓は締め方を間違えているときがあるそうで、写真のようになっているか使用後はもちろんですが、使用前も確認してほしいそうです。

できあがった豆腐は豆の風味があって美味しかったです。

豆腐作りに興味のある人、１人で作るのが不安な人は、女性部・加工部・野菜栽培活動グループの割当日に一緒に作りましょう!!　（一箭薫記）

特定重度疾病共済

NEW 身近なリスクに そなエール 特定重度疾病共済

各疾病区分のお支払事由に該当したとき
特定重度疾病共済金（最大４回）１回あたり 300万円

疾病区分		お支払事由
区分① がん		初めてがんと診断確定されたとき（はじめの90日間はがんの保障がありません。）
区分② 心・血管疾患	急性心筋梗塞	1日以上入院されたとき または 手術を受けられたとき※1
	急性心筋梗塞以外の心・血管疾患	20日以上継続して入院をされたとき または 手術を受けられたとき※1
区分③ 脳血管疾患	脳卒中	1日以上入院されたとき または 手術を受けられたとき※1
	脳卒中以外の脳血管疾患	20日以上継続して入院をされたとき または 手術を受けられたとき※1
区分④ その他の生活習慣病	糖尿病	インスリン治療※2を６か月以上継続して受けられたとき
	肝硬変	次のいずれかによって診断されたとき ア.病理組織学的所見による診断 イ.画像所見および血液検査による診断
	慢性じん不全	次のいずれかに該当したとき ア.永続的な人口透析療法※3を開始されたとき イ.じん臓移植術※4を受けられたとき
	慢性すい炎	手術を受けられたとき※1

各疾病区分につき１回ずつ特定重度疾病共済金をお受取り（最大４回）

※１ 治療を目的とし、かつ、公的医療保険制度に基づく医科診療報酬点数表により手術料が算定されるものを保障します（一部の手術を除きます）。
※２ 妊娠・分娩にかかる治療を除きます。
※３ 血液透析法または腹膜灌流法により血液浄化を行う療法をいい、一時的な人工透析療法を除きます。
※４ 慢性じん不全の治療を直接の目的とする手術のうち、じん臓の機能に障害がある方に対し、じん臓の機能の回復または付与を目的として行われるじん臓の移植術をいいます。ただし、自家じん臓移植術を除きます。

ご注意ください！

●この共済は、死亡時における保障はありません。●特定重度疾病共済金を４回お支払いした場合にはご契約は消滅します。

ご契約例

男　　性　30歳加入
共済期間　60歳まで
特定重度疾病共済金　300万円

月々共済掛金 **3,018円**

●上記プランをご選択いただいた場合の共済掛金です。
●右記の共済掛金は、払込経路が口座振替扱いの場合です。

振込みいただく共済掛金（一部抜粋）

男性	加入年齢(歳)	女性
1,452円	0	1,590円
1,782円	10	1,962円
2,277円	20	2,526円
3,018円	30	3,294円
4,227円	40	4,143円
6,330円	50	5,136円

（2020年4月現在　月払　口座振替の場合）

●この共済において対象となる「がん」は、悪性新生物（上皮内新生物を含む）および脳腫瘍です。
●がんに関する責任（保障）の開始は、ご契約日からその日を含めて91日目からとなります。これより前に被共済者が所定の悪性新生物または脳腫瘍と診断確定された場合には、がんにかかる共済金はお支払いいたしません。
●がん以外にかかる疾病区分および共済掛金の払込免除についてはご契約日から保障いたします。

このプランには、右記の特約と制度も含まれています。

指定代理請求特約	受取人となる被共済者が、共済金等を請求できない身体状況にある場合などに、あらかじめ指定された方が代理請求できる特約です。
共済掛金払込免除制度	病気・災害により所定の状態になられた場合、以後の共済掛金はいただきません。

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

JA共済 【20053530073】

お問い合わせ　共済課　４５－３０１７

手作りはおいしいな
豆腐づくり講座・みそ加工ほか

本格的な冬の到来とともに、農家の女性たちによる豆腐・みそ加工などが盛んに行われています。

女性部は12月7日に豆腐づくり講座を、翌8日に油揚げ講座をJA農産物加工センターで開催しました。

油揚げ講座にはフレッシュミズも参加し、前日に作った豆腐を使った油揚げとがんもどきの作り方を学びました。参加者は「一人で挑戦するのはハードルが高いので良い機会になった。おいしくできたものを食べるのが楽しみ」と話しました。

また、12月8日からは同所でみそ加工が始まりました。この日はみそ作りの第一工程として、蒸しあがった米に麹（こうじ）菌を混ぜ込み一次発酵させる作業が行われました。利用者は「おいしいみそにするため、まずはきれいな麹の花を咲かせたい」と話しました。

12月17日は女性部の「豆腐作りサポート隊活動グループ」が、大潟小学校3年生の総合学習の一環として、児童が栽培した大豆を使った豆腐作りのサポートを行いました。児童は「少し難しいがみんなで作ると楽しい」、「おいしいお豆腐を早く食べてみたい」と話しました。

小学生のための豆腐作りサポート隊活動グループの様子

女性部豆腐づくり講座の様子

油揚げ作り講座の様子

みそ加工の様子

JA葬祭レゼール「みどりの会」入会のご案内

安心1 月々の積立金、年会費は一切不要!
入会金10,000円（税込）のみで葬儀費用がお得に！
毎月のご負担がかからないように掛金は不要です。

安心2 1回のご入会で1家族が「生涯会員」です。
ご家族であればどなた様でも、ご利用いただけます。

安心3 即日入会可能
入会後すぐに会員割引が受けられます。※生前入会が原則です。

安心4 JA葬祭は全県ネットワークです。
県内のJA葬祭会社それぞれの会員割引特典が受けられます。

虹のホール
レゼール男鹿
〒010-0341
男鹿市船越字内子104-1
TEL：0185-35-4949

虹のホール
レゼール湖東
〒018-1516
南秋田郡井川町浜井川字杉ノ実170-1
TEL：018-855-6333

ご葬儀のことなら、どんなことでもお気軽にご相談ください！どなた様でもご利用いただけます。

お申込み・お問い合わせ JA葬祭レゼール 0120-46-5731

創立50周年記念 インフォメーション

ＪＡ大潟村創立50周年記念 講演・式典・祝賀会	令和３年11月中・下旬に延期
ＪＡ大潟村創立50周年記念 旅　　行	令和４年１月中旬に延期予定

※記念講演・式典・祝賀会に関しましては、秋田県内での新たな新型コロナウイルス感染者が発生するなど、感染拡大防止の観点から予断を許さない状況であることを踏まえ、来場者の健康や安全面を考慮し、令和２年11月19日から令和３年11月中・下旬に延期させていただきました。

※記念旅行に関しましては、令和３年１月出発予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和４年１月に延期の予定です。なお、記念旅行に関する詳細は改めて令和３年６月頃にご案内いたします。それに伴い、特別金利を設定した定期積金（旅行積立）の申し込みを新たに募集いたしますので、ぜひご利用ください。

ＪＡ大潟村創立50周年記念旅行に伴う特別金利定期積金（旅行積立）

1 積立受付期間
令和２年12月１日（火）～
令和３年６月30日（水）

2 満　期　日
令和４年１月末日まで

3 積立適用金利
0.5%

4 毎月積立上限額
50,000円

【本企画積立方式の一例】

例	毎月の積立金額	満期お受取金額
プラン①	50,000円　×　11回　＝	550,000円
	令和３年１月から11回払込み	令和３年12月満期の場合
プラン②	40,000円　×　12回　＝	480,000円
	令和３年１月から12回払込み	令和４年１月満期の場合

※その他定期積金のご希望プランに関しましては、金融課までご相談ください。

【満期後のお支払】旅行代金としてご利用いただきますが、お客様のご都合により当該旅行不参加の場合、また新型コロナウイルスの感染状況により旅行が再度延期等になった場合は、満期金全額をお受取りいただけます。

当定期積金のお問い合わせ・お申込み　金融課 TEL：45-2211（代表）または45-3018（貯金窓口）まで

彫刻家 鎌田俊夫さん（大潟村情報発信者）

作品展示会 開催中！

ＪＡ大潟村創立50周年記念イベントとして、大潟村の彫刻家・鎌田俊夫さんの作品をＪＡ会館正面入り口ホールに展示しております。その６作目として、「みちのく・朝」を現在展示中ですのでぜひご覧ください。

フレミズだより

●活動報告

11月25日　軽スポーツ大会（ボッチャ）
12月９日　村内研修（あしもみ講座）

●活動予定

１月11日～14日　加工部さんとのみそ作り体験
１月15日　とうふ作り講習会
１月26日　女性部合同役員研修
２月下旬　定例総会

軽スポーツ大会（ボッチャ）の様子

村内研修（あしもみ講座）の様子

青年部 活動報告と予定

随時部員を募集していますので、興味のある方はぜひＪＡ大潟村営農支援課（TEL：45-3033）までご連絡ください！

●活動報告　11月20日 ＪＡ青年大会参加
12月８日　青年部忘年会
（ルーラル２階にて）

●活動予定　新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえながら検討中です

ＪＡ青年大会の様子

職　員　人　事

退　職　組合員の皆様、ありがとうございました。

12月31日付　大山　雄也（整備課農機整備係）お疲れ様でした。

五城目警察署からのおしらせ

農閑期における肥料等の保管管理の徹底について

国内においても爆発物製造事案が発生

H30	愛知県名古屋市	19歳男	高性能爆薬を製造	少年が高性能爆薬を自作し公園で所持
H28	岐阜県多治見市	37歳男	高性能爆薬を製造	「興味本位でインターネットを見て作った」と供述
H28	栃木県宇都宮市	72歳男	爆発物を製造して自爆	祭りの最中に爆発、負傷者あり

畑や田んぼ、家庭菜園で使う肥料
↓
手製の爆発物の原料になり得る

農閑期を迎え、使用しなくなった肥料等をお持ちの方がいらっしゃいましたら、
●屋外に放置せず、鍵の掛かる保管庫や小屋で管理する
●盗難発生時は警察へ通報する
ことをお願いします。

110番の正しい利用

(1) 110番通報の要領

担当者が順を追って聴きしますので、落ち着いて質問に答えてください。
◆何があったのか（交通事故、泥棒、けんかなど）
◆いつあったのか（何分くらい前、何時ころなど）
◆場所はどこか（市町村名から）
◆犯人は（人相、服装、人数、車のナンバー、逃げた方向など）
◆事件・事故の状況は（けが人の有無）
◆あなたの住所、氏名、電話番号、事件との関係

(2) 110番になじまないもの

◇各種相談、案内、行事、事件等の問い合わせ
◇運転免許に関する問い合わせ
◇警察署、交番などの電話番号等の照会
※警察総合相談室は、専門の相談員が相談を受けたり、各種照会の担当窓口を案内します（電話は「#9110」でつながります）。

五城目警察署　TEL 018-852-4100
大潟駐在所　TEL 0185-45-2100

年金個別相談会のご案内

ＪＡでは、年金についての無料個別相談会を下記日程で開催いたします。当日は年金専門の社会保険労務士が年金に関するご質問にお答え致しますので、お気軽にご来場の上、ご相談くださいますようご案内申し上げます。なお、待ち時間軽減のため、事前のお申し込みをお願いいたします。

日時：２月４日（木）午前９時～午後２時
場所：ＪＡ会館２階小会議室
対象：年金の受け取りを目前に控えている方や現在年金を受け取っていて、疑問をお持ちの方
持物：認印・年金手帳・基礎年金番号通知書・年金証書・年金定期便　など
☆お申し込み・お問い合わせは金融課（45-3018または2211）まで。
※新型コロナウイルスの感染状況により中止させていただく場合もございますので予めご了承ください。

※「ＪＡの概況」は休みます。「理事会報告」は２月号に掲載します。

No.254

初めての お誕生日おめでとう!!

大﨑　柊斗（しゅうと）ちゃん

あっという間の１歳。まだまだ赤ちゃんの甘えん坊boyですが、毎日お姉ちゃんに刺激されながらたくましく成長中です。これからも２人仲良く元気に大きくなってね。

このコーナーに掲載希望の方はご連絡お待ちしております。TEL 45－2211　広報担当

「潟たまねぎ」がたっぷりでおいしいよ

豚まん専門店「豚まんの福楼」に行ってみよう

ＪＡ大潟村の「潟たまねぎ」と、秋田市産豚肉のみを贅沢にたっぷりと使用した、本格派豚まんの専門店「豚まんの福楼」が、この度秋田市土崎にオープンしました。

醤油と小麦「銀河のちから」も秋田産で、店主さんによるとオール秋田の新しいソウルフードを目指しているそうです。

その場で包んで、その場で蒸す、出来立てほかほかジューシーな福楼こだわりの豚まん。甘いたまねぎがザクザクで、４部位をカットしたお肉がゴロゴロです！秋田市にお立ち寄りの際は是非ご賞味ください。

２個…　520円（税込）　３個…　780円（税込）
４個…1,040円（税込）　５個…1,300円（税込）

この看板とのぼりが目印です

店舗情報

〒011-0941
秋田市土崎港北二丁目12-19
（陸上自衛隊秋田駐屯地近く）
TEL：018-874-9296

駐車場２台（お店のとなり）
営業時間　11時～
（なくなり次第終了）
毎週火曜日定休

※手作りのため数量限定販売となります。お電話にて確認のうえ、お早めに来店されることをお勧めいたします。
ツイッター・フェイスブック・インスタグラムもご覧ください。

素敵なお店です

小麦「銀河のちから」使用のもっちりフカフカな皮

その場で包んでその場で蒸す、出来立てほかほかジューシーな豚まん

たまねぎがザクザクでお肉がゴロゴロです！

〒010-0443 秋田県南秋田郡大潟村字中央1-5　TEL 0185-45-2211㈹　FAX 0185-45-2273
インターネットアドレス http://www.ja-ogata.or.jp/　組合長ブログ https://jaogata.exblog.jp/
発行／大潟村農業協同組合　印刷：㈱八郎潟印刷